

# 世話人会

11:40 ~ 12:05

第1会場 (2階 大会議室さくら (東西))

## ランチョンセミナー

12:15 ~ 13:15

ランチョンセミナー1

第1会場 (2階 大会議室さくら (東西))

**【セミナーテーマ】全身型重症筋無力症における2剤同時承認セミナー**

**重症筋無力症の課題と将来に向けた展望**

演者1: 近畿大学医学部 脳神経内科 講師

寒川 真

座長1: 近畿大学医学部 脳神経内科 主任教授

永井 義隆

**2つの新薬が描く重症筋無力症の治療戦略  
～ジルビスク<sup>®</sup>とリスティーゴ<sup>®</sup>の位置づけ～**

演者2: 大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 生体病態情報科学講座  
臨床神経生理学 准教授

久保田 智哉

座長2: 大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 生体病態情報科学講座  
臨床神経生理学 教授

高橋 正紀

共催: ユーシービージャパン株式会社

ランチョンセミナー2

第2会場 (2階 小ホール)

**抗補体治療で目指すNMOSD「再発ゼロ」  
～これまでの治療、これからの治療～**

演者: 東北医科薬科大学 医学部 脳神経内科学 教授

中島 一郎

座長: 大阪赤十字病院 院長補佐 兼 脳神経内科主任部長

尾崎 彰彦

共催: アレクシオンファーマ合同会社

ランチオンセミナー3  
第3会場 (3階 中会議室 銀杏)

【セミナーテーマ】多発性硬化症治療update ～MS患者さんのより良い未来のために～

**多発性硬化症と高次脳機能障害 –その症状と神経基盤–**

演者1：大阪公立大学大学院 医学研究科 脳神経内科学 講師

武田 景敏

座長1：近畿大学医学部 脳神経内科 講師

桑原 基

**多発性硬化症の high efficacy therapy ～ポイントとTips～**

演者2：大阪大学大学院 医学系研究科 神経内科学 講師

木下 允

座長2：和歌山県立医科大学 脳神経内科 准教授

宮本 勝一

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

**スイーツセミナー**

14:15～15:05

スイーツセミナー1

第1会場 (2階 大会議室さくら (東西) )

**パーキンソン病の分子病態と最新治療**

演者：京都大学大学院 医学研究科 臨床神経学 教授

高橋 良輔

座長：東京大学大学院 医学系研究科 神経内科学 教授

戸田 達史

共催：エーザイ株式会社

スイーツセミナー2

第2会場 (2階 小ホール)

**病勢モニタリング、予後予測からMG治療を考える**

演者1：京都府立医科大学 脳神経内科 病院助教

小島 雄太

**当院における新たなgMG治療の試み**

演者2：和泉市立総合医療センター 脳神経内科 部長

濱田 征宏

座長：大阪公立大学大学院 医学研究科 脳神経内科学 教授

伊藤 義彰

共催：アルジェニクスジャパン株式会社

スイーツセミナー3  
第3会場 (3階 中会議室 銀杏)

パーキンソン病における嚥下障害  
～高齢パーキンソン病患者へのMAOB阻害薬使用について～

演 者：近畿大学医学部 脳神経内科 臨床教授

平野 牧人

座 長：堺市立総合医療センター 難病センター センター長

藤村 晴俊

共催：武田薬品工業株式会社

教育セミナー

15：45～16：45

第1会場 (2階 大会議室さくら (東西) )

「なおらない」から「なおる」脳神経内科へ  
神経・筋疾患の病態解明と分子標的治療

演 者：東京大学大学院 医学系研究科 神経内科学 教授

戸田 達史

座 長：近畿大学医学部 脳神経内科 主任教授

永井 義隆

# 第1会場 演者・座長一覧

時間帯	番号	発表者	所属	演題名	セッション名	座長(所属)
9:00 ~ 9:48	A-01	永島 希	大阪急性期・総合医療センター 脳神経内科	卵巣未熟奇形腫を併発した抗 NMDA 受容体脳炎に対して化学療法が奏功した一例	脳炎・脳症	三井 良之 (近畿大学医学部 医学部教育センター・ 脳神経内科)
	A-02	大角 倫子	洛和会音羽病院 脳神経内科	当院で経験した抗 LGH1 抗体陽性の2症例の比較		
	A-03	濱本 暁子	市立東大阪医療センター 脳神経内科	抗 CASPR2 抗体と抗 GFAP α 抗体が陽性の自己免疫性辺縁系脳炎の1例		
	A-04	前園 恵子	京都第二赤十字病院 脳神経内科	多発性骨髄腫の治療中に発症した白質脳症の一例		
	A-05	田塾 郁実	公立甲賀病院	チアミン大量投与を施行し神経学的予後良好であったメトロニダゾール誘発性脳症の一例		
	A-06	崔 聡	京都第一赤十字病院 脳神経・脳卒中科	診断に苦慮した不可逆的な右同名半盲を呈した非ケトン性高血糖の一例		
9:53 ~ 10:41	A-07	久後 啓介	神戸大学大学院 医学研究科 脳神経内科	側脳室周囲に造影効果病変を伴った視神経脊髄炎スペクトラム障害の一例	若手奨励賞 候補演題 (内科専攻医) 1	永井 義隆 (近畿大学医学部 脳神経内科)  木村 卓 (兵庫医科大学 脳神経科学)
	A-08	多田 満里奈	関西医科大学附属病院 神経内科学講座	ウイルス性胃腸炎後 ADEM との鑑別を要した CADASIL の1例		
	A-09	安川 直征	京都大学医学部附属病院 脳神経内科	初発から診断まで年余の経過を要した焦点意識保持発作の扁桃体腫大を伴う側頭葉てんかんの1例		
	A-10	金澤 厳秀	和泉市立総合医療センター 脳神経内科	当院におけるパーキンソン病治療の新たな試み「レドパパ持続皮下注療法:ヴィアレブ」の導入と有効性		
	A-11	杉山 智子	日本赤十字社大津赤十字病院 脳神経内科	経過中に原因不明の高熱と高 CK 血症を伴った Beta-proPELLer protein-associated neurodegeneration (BPAN) の1例		
	A-12	柿原 知人	一般財団法人 住友病院 脳神経内科	オンディーヌの呪いをきたした延髄外側梗塞の一例: 責任病巣に関する考察		
10:46 ~ 11:34	A-13	玉田 亮吾	兵庫県立はりま姫路 総合医療センター	セミノーマ摘出術後に発症した抗 MOG 抗体 / 抗 NMDAR 抗体共陽性の自己免疫性辺縁系脳炎の1例	若手奨励賞 候補演題 (内科専攻医) 2	高橋 良輔 (京都大学大学院 医学研究科 臨床神経学 (脳神経内科))  影山 恭史 (兵庫県立 尼崎総合医療センター 脳神経内科)
	A-14	小林 史弥	済生会滋賀県病院 脳神経内科	繰り返す免疫療法が奏功した自家造血幹細胞移植 (AH SCT) 後多発骨髄腫 (MM) に併発した最重症抗 GABA <sub>A</sub> 受容体脳炎の一例		
	A-15	田中 弘一	滋賀医科大学 脳神経内科	後骨間神経麻痺が疑われた possible multifocal motor neuropathy の1症例		
	A-16	平井 敦樹	近畿大学 医学部 脳神経内科	NOTCH3 遺伝子に cysteine-sparing mutation を認めた CADASIL の1例		
	A-17	田中 裕彬	奈良県立医科大学付属病院 脳神経内科	急性の前行性健忘で発症した脳梁下動脈梗塞の一例		
	A-18	岩本 宗矩	加古川中央市民病院 脳神経内科	治療抵抗性筋炎としてフォローされていた遅発型脂質蓄積性ミオパシーの一例		
11:40~12:05 世話人会						
12:15 ~ 13:15	LS-1	ランチョンセミナー 1 全身型重症筋無力症における2剤同時承認セミナー 重症筋無力症の課題と将来に向けた展望 演者1: 寒川 真(近畿大学医学部 脳神経内科 講師) 座長1: 永井 義隆(近畿大学医学部 脳神経内科 主任教授) 2つの新薬が描く重症筋無力症の治療戦略 ~ジルビスク® とリスティーゴ® の位置づけ~ 演者2: 久保田 智哉(大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 生体病態情報科学講座 臨床神経生理学 准教授) 座長2: 高橋 正紀(大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 生体病態情報科学講座 臨床神経生理学 教授) 共催: ユーシービー・ジャパン株式会社				
13:25 ~ 14:05	A-19	橋本 大輝	大阪府済生会野江病院 脳神経内科	トリプルネガティブ乳癌(TNBC)に併発した、抗 AQP4 抗体陽性の視神経脊髄炎スペクトラム障害(NMOSD)の一例	免疫・ 炎症性疾患	藤井 ちひろ (関西医科大学 総合医療センター 脳神経内科)
	A-20	王 晨堯	天理よろづ相談所病院 脳神経内科	視神経萎縮に伴う急性進行性視力低下を呈する難治性抗 MOG 抗体症候群の1例		
	A-21	高木 宏武	奈良西部病院 脳神経内科	大脳多巣性、脳幹、頸髄に病変を伴う抗 MOG 抗体関連疾患の一例		
	A-22	青木 陽平	和歌山県立医科大学 脳神経内科	抗 Glycine 受容体 (GlyR) 抗体陰性 progressive encephalomyelitis with rigidity and myoclonus (PERM) の一例		
	A-23	寛 拓朗	兵庫県立尼崎総合医療センター	SLE を背景として大脳に TDL (tumefactive demyelinating lesion) が出現し、免疫療法が奏功した1例		
14:15 ~ 15:05	SS-1	スイーツセミナー 1 パーキンソン病の分子病態と最新治療 演者: 高橋 良輔(京都大学大学院 医学系研究科 臨床神経学 教授) 座長: 戸田 達史(東京大学大学院 医学系研究科 神経内科学 教授) 共催: エーザイ株式会社				
15:45 ~ 16:45	教育セミナー 「なおらない」から「なおる」脳神経内科へ 神経・筋疾患の病態解明と分子標的治療 演者: 戸田 達史(東京大学大学院 医学系研究科 神経内科学 教授) 座長: 永井 義隆(近畿大学医学部 脳神経内科 主任教授)					

## 第2会場 演者・座長一覧

時間帯	番号	発表者	所属	演題名	セッション名	座長 (所属)
9:00 ~ 9:40	B-01	佐藤 啓	宇治病院	難治性細菌性髄膜炎の一症例	髄膜炎・ 脊髄疾患	尾崎 彰彦 (大阪赤十字病院)
	B-02	村上 駿平	国家公務員共済組合連合会 大手前病院 脳神経内科	治療中に脊髄長大病変を伴ったクリプトコッカス髄膜炎 の一例		
	B-03	八木 康至	兵庫医科大学病院 脳神経内科	脊髄長大病変を呈し、両側白質病変による意識障害を 発症した IVLBCL の一例		
	B-04	光吉 礼人	大阪大学医学部附属病院 神経内科・脳卒中科	診断まで多種の検索を実施した Surfer's Myelopathy の一例		
	B-05	坂東 美樹	神戸大学大学院医学研究科 脳神経内科学	同側顔面および上肢の感覚障害をきたした後脊髄動脈 領域梗塞の一例		
9:45 ~ 10:25	B-06	松本 涼聖	大阪警察病院 脳神経内科	高度な自律神経障害が遷延した、咽頭 - 頸部 - 上腕型 Guillain-Barre 症候群と Fisher 症候群がオーバーラ ップした一例	末梢神経・ 筋疾患	川本 未知 (神戸市立医療センター 中央市民病院 脳神経内科)
	B-07	北村 慧介	大阪警察病院 脳神経内科	全身筋力低下・高度意識障害で発症し P/Q 型 VGCC 抗体・ 抗 SOX1 抗体陽性と判明した LEMS の一例		
	B-08	山本 眞紀子	近畿大学病院 脳神経内科	シェーグレン症候群に合併した免疫介在性壊死性ミオパ チーの1例		
	B-09	伊藤 舞	関西労災病院 脳神経内科	COVID-19 罹患後に再燃を認めた抗 HMGR 抗体陽性の 免疫介在性壊死性ミオパチー (IMNM) の一例		
	B-10	階堂 三砂子	堺市立総合医療センター 遺伝診療科・脳神経内科	長期経過を確認できた常染色体潜性遺伝伝帯型筋ジスト ロフィー 3 型 (LGMDR3) の1軽症例		
10:30 ~ 11:26	B-11	中西 航暉	大阪労災病院 臨床研修センター	髄膜炎を繰り返した掌蹠膿疱症の一例	若手奨励賞 候補演題 (初期研修医)	漆谷 真 (滋賀医科大学 脳神経内科)  荒若 繁樹 (大阪医科大学 脳神経内科)
	B-12	清原 華也	大阪公立大学医学部附属病院	中脳から大脳白質に広範な散在性病変を認めた視神経脊 髄炎スペクトラム障害の一例		
	B-13	山口 峻輝	京都岡本記念病院 脳神経内科	早期診断により良好な転帰をえた重度呼吸障害で発症 した重症筋無力症の一例		
	B-14	山泉 琴音	兵庫県立丹波医療センター 内科	Early fast-acting treatment により重症筋無力症ととも に 25 年次の天疱瘡が寛解した 1 例		
	B-15	永田 遼	田附興風会 医学研究所 北野病院	IVIg が著効した Acute oropharyngeal palsy (AOP) の1例		
	B-16	酒井 紅美子	大阪大学医学部附属病院 神経内科・脳卒中科	ミルタザピン・メフロキン併用療法が奏功した、特異性 CD4 リンパ球減少症を背景とする進行性多巣性白質脳症 の一例		
	B-17	児玉 創湖	近江八幡市立総合医療センター 脳神経内科	診断未確定の状態で救急搬入されたパーキンソン病の 2 例		
12:15 ~ 13:15	LS-2	ランチョンセミナー 2 抗補体治療で目指す NMOSD [「再発ゼロ」~これまでの治療、これからの治療~ 演者: 中島 一郎 (東北医科薬科大学 医学部 脳神経内科学 教授) 座長: 尾崎 彰彦 (大阪赤十字病院 院長補佐 兼 脳神経内科主任部長) 共催: アレクシオンファーマ合同会社				
13:25 ~ 14:05	B-18	三浦 恭太郎	大阪医科薬科大学附属病院 神経内科	プリオン蛋白遺伝子に複合ヘテロ接合性変異を認めた Creutzfeldt-Jakob 病の一例	変性疾患・ その他	笠井 高士 (京都府立医科大学 脳神経内科)
	B-19	米谷 廉	国立病院機構 宇多野病院 脳神経内科	臨床的に進行性核上性麻痺 (PSP) と診断されたが、病理学 的には大脳皮質基底核変性症 (CBD) であった一例		
	B-20	峠 理絵	関西医科大学総合医療センター 脳神経内科	造血幹細胞移植を断念した成人発症副腎白質ジスト ロフィーの一例		
	B-21	隅蔵 大幸	大阪急性期・総合医療センター 脳神経内科	首下がり限定する筋無力症候群を呈した球脊髄性筋萎縮 症の一例		
	B-22	金星 匡人	国立病院機構兵庫中央病院 脳神経内科	L-Dopa 治療後に水痘性類天疱瘡を発症したパーキン ソン病の1例		
14:15 ~ 15:05	SS-2	スイーツセミナー 2 病勢モニタリング、予後予測から MG 治療を考える 演者 1: 小島 雄太 (京都府立医科大学 脳神経内科 病院助教) 当院における新たな gMG 治療の試み 演者 2: 濱田 征宏 (和泉市立総合医療センター 脳神経内科 部長) 座長: 伊藤 義彰 (大阪公立大学大学院 医学研究科 脳神経内科学 教授) 共催: アルジェニクスジャパン株式会社				

## 第3会場 演者・座長一覧

時間帯	番号	発表者	所属	演題名	セッション名	座長 (所属)
9:00 と 9:32	C-01	乾 涼磨	国立循環器病研究センター 脳神経内科	急性期血行再建術中に CYP2C19 variant 迅速診断による抗血小板療法選択が有用であったアテローム血栓性脳梗塞の1例	脳血管 障害1	大槻 俊輔  (近畿大学病院 脳卒中センター)
	C-02	村田 翔平	京都府立医科大学大学院 医学研究科 脳神経内科学	同側錐体路障害による片麻痺の機序を Functional MRI で証明しえた脳梗塞の一例		
	C-03	村田 博朗	国立循環器病研究センター 脳血管内科	若年の潰瘍性大腸炎患者に認めた奇異性脳塞栓症の一例		
	C-04	梅村 ゆりあ	住友病院 脳神経内科 脳卒中・脳血管内治療室	一側の頸動脈痛で発症し瘤状動脈の高度狭窄と無症候性脳梗塞を合併した TIPICS と考えられる若年女性例		
9:37 と 10:25	C-05	山村 悠介	兵庫県立尼崎総合医療センター 脳神経内科/関西電力病院 脳神経内科	developmental venous anomaly の閉塞による難治性癲癇重積の1例	脳血管 障害2	坂口 学  (大阪府立病院機構 大阪急性期・ 総合医療センター 脳神経内科)
	C-06	桂 遥香	滋賀医科大学 脳神経内科	Posterior reversible encephalopathy syndrome (PRES) により sulcus SAH と spinal SAH を生じたと考えられた1例		
	C-07	村方 健治	富永病院 脳神経内科	Hyperintense vessel sign の経時的変化を観察し得た可逆性脳血管攣縮症候群(RCVS)の一例		
	C-08	碓井 遼	国立循環器病研究センター 脳血管内科	脳皮質下出血で発症し、脳血管造影検査のみで判定可能な末梢動脈病変を呈した可逆性脳血管攣縮症候群の一例		
	C-09	寺村 光一郎	京都大学大学院 医学研究科 臨床神経学	一過性神経発作を呈した脳アミロイド血管症で頭皮脳波の超低域徐波をみとめた2例		
	C-10	大内 謙	京都第一赤十字病院 脳神経・脳卒中科	責任病変の高位診断に難渋した Bow hunter 症候群の一例		
12:15 と 13:15	LS-3	ランチョンセミナー 3 多発性硬化症治療 update ～MS 患者さんのより良い未来のために～ 多発性硬化症と高次脳機能障害 –その症状と神経基盤– 演者 1: 武田 景敏(大阪公立大学大学院 医学研究科 脳神経内科学 講師) 座長 1: 桑原 基(近畿大学医学部 脳神経内科 講師) 多発性硬化症の high efficacy therapy ～ポイントとTips～ 演者 2: 木下 允(大阪大学大学院 医学系研究科 神経内科学 講師) 座長 2: 宮本 勝一(和歌山県立医科大学 脳神経内科 准教授) 共催: ノバルティス ファーマ株式会社				
14:15 と 15:05	SS-3	スイーツセミナー 3 パーキンソン病における嚥下障害 ～高齢パーキンソン病患者への MAOB 阻害薬使用について～ 演者: 平野 牧人(近畿大学医学部 脳神経内科 臨床教授) 座長: 藤村 晴俊(堺市立総合医療センター 難病センター センター長) 共催: 武田薬品工業株式会社				

# 第1会場

## 脳炎・脳症

座長：三井 良之  
(近畿大学医学部 医学部教育センター・脳神経内科)

9:00~9:48

### A-01 卵巣未熟奇形腫を合併した抗NMDA受容体脳炎に対して化学療法が奏功した一例

○永島 希<sup>1</sup>、畑山 直輝<sup>1</sup>、藤岡 智宏<sup>1</sup>、島田 勇毅<sup>1</sup>、深阪 勲<sup>1</sup>、清水 幹人<sup>1</sup>、  
東田 京子<sup>1</sup>、隅蔵 大幸<sup>1</sup>、星 拓<sup>1</sup>、坂口 学<sup>1</sup>、竹村 昌彦<sup>2</sup>

<sup>1</sup>大阪急性期・総合医療センター脳神経内科

<sup>2</sup>大阪急性期・総合医療センター産科・婦人科

### A-02 当院で経験した抗LGI1抗体陽性の2症例の比較

○大角 倫子、坂本 光弘、大曲 悠希、川津 邦裕、木下 智晴、和田 裕子  
洛和会音羽病院 脳神経内科

### A-03 抗CASPR2抗体と抗GFAP $\alpha$ 抗体が陽性の自己免疫性辺縁系脳炎の1例

○濱本 暁子<sup>1</sup>、中野 智仁<sup>1</sup>、林 亮佑<sup>1</sup>、松田 佑香里<sup>1</sup>、宮内 雅樹<sup>1</sup>、竹中 乃由利<sup>1</sup>、  
白石 直之<sup>1</sup>、隅 寿恵<sup>1</sup>、中 隆<sup>1</sup>、木村 暁夫<sup>2</sup>、下畑 享良<sup>2</sup>

<sup>1</sup>市立東大阪医療センター 脳神経内科

<sup>2</sup>岐阜大学 脳神経内科学分野

### A-04 多発性骨髄腫の治療中に発症した白質脳症の一例

○前園 恵子、周防 大貴、清水 夢基、松岡 千紘、松浦 啓、小椋 史織、山本 敦史、  
徳田 直輝、永金 義成

京都第二赤十字病院 脳神経内科

### A-05 チアミン大量投与を施行し神経学的予後良好であったメトロニダゾール誘発性脳症の一例

○田埜 郁実、田中 智大、日野 嵩仁、岡本 直己、和田 英貴、小河 秀郎  
公立甲賀病院

### A-06 診断に苦慮した不可逆的な右同名半盲を呈した非ケトン性高血糖の一例

○崔 聡、今井 啓輔、山田 丈弘、沼 宗一郎、長 正訓、加藤 拓真

京都第一赤十字病院 脳神経・脳卒中科

## 若手奨励賞候補演題（内科専攻医） 1

座長：永井 義隆  
(近畿大学医学部 脳神経内科)

座長：木村 卓  
(兵庫医科大学 脳神経内科学)

9 : 53 ~ 10 : 41

### A-07 側脳室周囲に造影効果病変を伴った視神経脊髄炎スペクトラム障害の一例

○久後 啓介、杉澤 良介、渡邊 有史、的場 健人、古東 秀介、十河 正弥、  
千原 典夫、関口 兼司、松本 理器  
神戸大学大学院医学研究科 脳神経内科学

### A-08 ウイルス性胃腸炎後ADEMとの鑑別を要したCADASILの1例

○多田 満里奈<sup>1</sup>、三宅 浩介<sup>1</sup>、中村 正孝<sup>1</sup>、國枝 武伸<sup>1</sup>、高橋 牧郎<sup>2</sup>、水野 敏樹<sup>3</sup>、  
薬師寺 祐介<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>関西医科大学附属病院 神経内科学講座  
<sup>2</sup>関西医科大学附属病院 神経難病医学講座  
<sup>3</sup>京都府立医科大学大学院医学研究科 脳神経内科学

### A-09 初発から診断まで年余の経過を要した焦点意識保持発作の扁桃体腫大を伴う側頭葉てんかんの1例

○安川 直征<sup>1</sup>、立岡 悠<sup>1</sup>、小林 勝哉<sup>1</sup>、下竹 昭寛<sup>1</sup>、細川 恭子<sup>1</sup>、葛谷 聡<sup>1</sup>、  
池田 昭夫<sup>2</sup>、高橋 良輔<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>京都大学医学部附属病院 脳神経内科  
<sup>2</sup>京都大学大学院医学研究科 てんかん・運動異常生理学

### A-10 当院におけるパーキンソン病治療の新たな試み『レボドパ持続皮下注療法：ヴィアレブ』の導入と有効性

○金澤 徹秀、山名 正樹、上野 周一、濱田 征宏  
和泉市立総合医療センター 脳神経内科

### A-11 経過中に原因不明の高熱と高CK血症を伴ったBeta-propeller protein-associated neurodegeneration(BPAN)の1例

○杉山 智子<sup>1</sup>、松本 瑞樹<sup>1</sup>、奥田 真也<sup>1</sup>、溝部 万里奈<sup>2</sup>、中村 尚香<sup>1</sup>、八杉 凌平<sup>1</sup>、  
小野 翔平<sup>1</sup>、北川 理<sup>1</sup>、武山 博文<sup>1</sup>、村松 一洋<sup>2</sup>、小坂 仁<sup>2</sup>、松井 大<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>日本赤十字社大津赤十字病院 脳神経内科  
<sup>2</sup>自治医科大学 小児科

### A-12 オンディーヌの呪いをきたした延髄外側梗塞の一例：責任病巣に関する考察

○柿原 知人<sup>1</sup>、柴田 益成<sup>1,2</sup>、中村 敬<sup>1,2</sup>、前田 周吾<sup>1</sup>、梅村 ゆりあ<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>一般財団法人 住友病院 脳神経内科  
<sup>2</sup>一般財団法人 住友病院 脳卒中・脳血管内治療室



## 若手奨励賞候補演題（内科専攻医）2

座長：高橋 良輔  
(京都大学大学院 医学研究科 臨床神経学 (脳神経内科))

座長：影山 恭史  
(兵庫県立 尼崎総合医療センター 脳神経内科)

10:46~11:34

### A-13 セミノーマ摘出術後に発症した抗MOG抗体/抗NMDAR抗体共陽性の自己免疫性辺縁系脳炎の1例

○玉田 亮吾、松野 泰幸、原 敦、清家 尚彦、寺澤 英夫、清水 洋孝、瓦井 俊孝、  
上原 敏志

兵庫県立はりま姫路総合医療センター

### A-14 繰り返す免疫療法が奏功した自家造血幹細胞移植(AHSCT)後多発骨髄腫(MM)に合併した最重症抗GABAA受容体脳炎の1例

○小林 史弥<sup>1</sup>、田中 義大<sup>1</sup>、加藤 拓真<sup>1</sup>、阪口 和希<sup>1</sup>、中島 大輔<sup>1</sup>、武澤 秀理<sup>1,2</sup>、  
藤井 明弘<sup>1</sup>、飯塚 高浩<sup>2</sup>

<sup>1</sup>済生会滋賀県病院 脳神経内科

<sup>2</sup>北里大学医学部 脳神経内科

### A-15 後骨間神経麻痺が疑われたpossible multifocal motor neuropathyの1症例

○田中 弘一<sup>1</sup>、北村 彰浩<sup>1,2</sup>、中村 竜太郎<sup>1</sup>、矢端 博行<sup>1</sup>、塚本 剛士<sup>1</sup>、小橋 修平<sup>1</sup>、  
玉木 良高<sup>1</sup>、小川 暢弘<sup>1</sup>、山川 勇<sup>1</sup>、寺島 智也<sup>1</sup>、漆谷 真<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>滋賀医科大学 脳神経内科

<sup>2</sup>滋賀医科大学 神経難病研究センター

### A-16 NOTCH3遺伝子にcysteine-sparing mutationを認めたCADASILの1例

○平井 敦樹、道浦 徹、吉川 恵輔、金 蓮姫、寒川 真、桑原 基、平野 牧人、  
永井 義隆

近畿大学 医学部 脳神経内科

### A-17 急性の前行性健忘で発症した脳梁下動脈梗塞の1例

○田中 裕彬、七浦 仁紀、桐山 敬生、田中 聡人、掛樋 善明、泉 哲石、  
斎藤 こずえ、杉江 和馬

奈良県立医科大学付属病院 脳神経内科

### A-18 治療抵抗性筋炎としてフォローされていた遅発型脂質蓄積性ミオパチーの1例

○岩本 宗矩<sup>1</sup>、島谷 佳光<sup>1</sup>、武田 侑己<sup>1</sup>、永田 格也<sup>1</sup>、藤田 泰佑<sup>2</sup>、山根 隆志<sup>2</sup>、  
石原 広之<sup>1</sup>、西野 一三<sup>3</sup>

<sup>1</sup>加古川中央市民病院 脳神経内科

<sup>2</sup>同 リウマチ・膠原病内科

<sup>3</sup>国立精神・神経医療研究センター

## 免疫・炎症性疾患

座長：藤井 ちひろ  
(関西医科大学 総合医療センター 脳神経内科)

13:25~14:05

### A-19 トリプルネガティブ乳癌 (TNBC) に合併した、抗AQP4抗体陽性の視神経脊髄炎スペクトラム障害 (NMOSD) の一例

○橋本 大輝、石川 大樹、堀口 美香、前田 和彦、岡田 洋一郎、河野 隆一  
大阪府済生会野江病院 脳神経内科

### A-20 視神経萎縮に伴う急性進行性視力低下を呈する難治性抗MOG抗体症候群の1例

○王 晨堯、伊藤 滉、渡邊 圭崇、松田 明宏、山口 聡子、新出 明代、野寺 裕之、末長 敏彦  
天理よろづ相談所病院 脳神経内科

### A-21 大脳多巣性、脳幹、頸髄に病変を伴う抗MOG抗体関連疾患の一例

○高木 宏武<sup>1</sup>、山口 美香<sup>1</sup>、島田 京子<sup>1</sup>、谷口 理章<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>奈良西部病院 脳神経内科  
<sup>2</sup>大阪脳神経外科病院 脳神経外科

### A-22 抗Glycine受容体(GlyR)抗体陰性progressive encephalomyelitis with rigidity and myoclonus(PERM)の一例

○青木 陽平、阪田 麻友美、堀 昂平、樽谷 潤子、高 真守、宮本 勝一、伊東 秀文  
和歌山県立医科大学 脳神経内科

### A-23 SLEを背景として大脳にTDL(tumefactive demyelinating lesion)が出現し、免疫療法が奏功した1例

○寛 拓朗、古谷 裕季子、吉本 修也、上田 健博、米田 行宏、影山 恭史  
兵庫県立尼崎総合医療センター

## 第2会場

### 髄膜炎・脊髄疾患

座長：尾崎 彰彦  
(大阪赤十字病院)

9:00~9:40

#### B-01 難治性細菌性髄膜炎の一症例

○佐藤 啓<sup>1</sup>、岡田 直<sup>1</sup>、林 紗葵<sup>2</sup>、大井 長和<sup>3</sup>、岸田 夏枝<sup>4</sup>、福田 俊一<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>宇治病院  
<sup>2</sup>宇治おうばく病院  
<sup>3</sup>脳神経リハビリ北大路病院  
<sup>4</sup>京都医療センター

#### B-02 治療中に脊髄長大病変を伴ったクリプトコッカス髄膜脳炎の一例

○村上 駿平、廣澤 太輔、和田 悠作、東郷 一行、須貝 文宣  
国家公務員共済組合連合会 大手前病院 脳神経内科

#### B-03 脊髄長大病変を呈し、両側白質病変による意識障害を発症したIVLBCLの一例

○八木 康至<sup>1</sup>、西 将光<sup>1</sup>、松田 育雄<sup>2</sup>、吉田 沙由理<sup>2</sup>、谷田 麻美<sup>1</sup>、藤原 瑛子<sup>1</sup>、  
吉積 一樹<sup>1</sup>、徳原 悠介<sup>1</sup>、坂本 峻<sup>1</sup>、右近 紳一郎<sup>1</sup>、山本 麻美<sup>1</sup>、渡邊 将平<sup>1</sup>、  
笠間 周平<sup>1</sup>、廣田 誠一<sup>2</sup>、武田 正中<sup>1</sup>、木村 卓<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>兵庫医科大学病院 脳神経内科  
<sup>2</sup>兵庫医科大学病院 病理診断科

#### B-04 診断まで多種の検索を実施したSurfer's Myelopathyの一例

○光吉 礼人、門脇 淳、大藪 達彦、木村 康義、岡崎 周平、藤堂 謙一、奥野 龍禎、  
望月 秀樹  
大阪大学医学部附属病院 神経内科・脳卒中科

#### B-05 同側顔面および上肢の感覚障害をきたした後脊髄動脈領域梗塞の一例

○坂東 美樹、芦崎 太一郎、橋本 黎、的場 健人、古東 秀介、十河 正弥、  
千原 典夫、関口 兼司、松本 理器  
神戸大学大学院医学研究科 脳神経内科学科

## 末梢神経・筋疾患

座長：川本 未知  
(神戸市立医療センター 中央市民病院 脳神経内科)

9：45～10：25

### B-06 高度な自律神経障害が遷延した，咽頭-頸部-上腕型Guillain-Barre症候群とFisher症候群がオーバーラップした一例

○松本 涼聖、秀嶋 信、北村 慧介、神野 隼輝、村上 泰隆、西田 福子、神吉 秀明  
大阪警察病院 脳神経内科

### B-07 全身筋力低下・高度意識障害で発症しP/Q型VGCC抗体・抗SOX1抗体陽性と判明したLEMSの一例

○北村 慧介<sup>1</sup>、神吉 秀明<sup>1</sup>、神野 隼輝<sup>1</sup>、西浦 嵩弥<sup>2</sup>、仲谷 勇輝<sup>3</sup>、西田 福子<sup>1</sup>、  
秀嶋 信<sup>1</sup>、村上 泰隆<sup>1</sup>、松本 涼聖<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>大阪警察病院 脳神経内科  
<sup>2</sup>大阪警察病院 救急救命科  
<sup>3</sup>大阪警察病院 呼吸器内科

### B-08 シェーグレン症候群に合併した免疫介在性壊死性ミオパチーの1例

○山本 眞紀子<sup>1</sup>、名村 仁志<sup>1</sup>、森田 顕<sup>1</sup>、稲田 莉乃<sup>1</sup>、寒川 真<sup>1</sup>、桑原 基<sup>1</sup>、  
平野 牧人<sup>1</sup>、西野 一三<sup>2</sup>、永井 義隆<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>近畿大学病院 脳神経内科  
<sup>2</sup>国立精神・神経医療研究センター

### B-09 COVID-19罹患後に再燃を認めた抗HMGCR抗体陽性の免疫介在性壊死性ミオパチー (IMNM) の一例

○伊藤 舞、西川 徹、古田 充、寺崎 泰和  
関西労災病院 脳神経内科

### B-10 長期経過を確認できた常染色体潜性遺伝肢帯型筋ジストロフィー3型 (LGMDR3) の1軽症例

○階堂 三砂子<sup>1,2</sup>、豊岡 圭子<sup>3</sup>、高安 健<sup>4</sup>、西野 一三<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>堺市立総合医療センター 遺伝診療科  
<sup>2</sup>堺市立総合医療センター 脳神経内科  
<sup>3</sup>大阪刀根山医療センター脳神経内科  
<sup>4</sup>高安内科・循環器科クリニック  
<sup>5</sup>国立精神・神経医療研究センター

## 若手奨励賞候補演題（初期研修医）

座長：漆谷 真  
(滋賀医科大学 脳神経内科)

座長：荒若 繁樹  
(大阪医科薬科大学 脳神経内科)

10:30~11:26

### B-11 髄膜脳炎を繰り返した掌蹠膿疱症の一例

○中西 航暉<sup>1</sup>、棚橋 貴夫<sup>2</sup>、蓮池 裕平<sup>2</sup>、由上 登志郎<sup>2</sup>、橋本 弘行<sup>2</sup>

<sup>1</sup>大阪労災病院 臨床研修センター

<sup>2</sup>大阪労災病院 脳卒中・脳神経内科

### B-12 中脳から大脳白質に広範な散在性病変を認めた視神経脊髓炎スペクトラム障害の一例

○清原 華也<sup>1</sup>、長谷川 樹<sup>2</sup>、岡本 光佑<sup>2</sup>、三野 俊和<sup>2</sup>、武田 景敏<sup>2</sup>、伊藤 義彰<sup>2</sup>

<sup>1</sup>大阪公立大学医学部附属病院

<sup>2</sup>大阪公立大学大学院医学研究科 脳神経内科

### B-13 早期診断により良好な転帰をえた重度呼吸障害で発症した重症筋無力症の一例

○山口 峻輝、東本 祐樹、西井 陽亮、西村 優佑、蒔田 直輝、牧野 雅弘

京都岡本記念病院 脳神経内科

### B-14 Early fast-acting treatmentにより重症筋無力症とともに25年来の天疱瘡が寛解した1例.

○山泉 琴音、矢幡 悟大、大塚 喜久

兵庫県立丹波医療センター 内科

### B-15 IVIgが著効したAcute oropharyngeal palsy (AOP) の1例

○永田 遼、森内 俊達、奥田 真也、石田 光拡、岡 良祐、松本 佳己、今中 翔平、  
後藤 昌広、樽野 陽亮、宮本 将和、小松 研一、金子 鋭

田附興風会 医学研究所 北野病院

### B-16 ミルタザピン・メフロキン併用療法が奏功した、特発性CD4リンパ球減少症を背景とする進行性多巣性白質脳症の一例

○酒井 紅美子<sup>1</sup>、葛 林楯<sup>1</sup>、別宮 豪一<sup>1</sup>、門脇 淳<sup>1</sup>、大藪 達彦<sup>1</sup>、木村 康義<sup>1</sup>、  
村山 繁雄<sup>2,3</sup>、望月 秀樹<sup>1</sup>

<sup>1</sup>大阪大学医学部附属病院 神経内科・脳卒中科

<sup>2</sup>大阪大学大学院 連合小児発達学研究所

<sup>3</sup>東京都健康長寿医療センター

### B-17 診断未確定の状態で見急搬入されたパーキンソン病の2例

○児玉 創湖<sup>1</sup>、松尾 宏俊<sup>1</sup>、田中 章浩<sup>1,5</sup>、川崎 士<sup>2</sup>、山下 裕暉<sup>3</sup>、池田 和弘<sup>4</sup>

<sup>1</sup>近江八幡市立総合医療センター 脳神経内科

<sup>2</sup>同 総合内科

<sup>3</sup>同 消化器内科

<sup>4</sup>同 救急診療科

<sup>5</sup>京都府立医科大学 脳神経内科

13：25～14：05

B-18 プリオン蛋白遺伝子に複合ヘテロ接合性変異を認めたCreutzfeldt-Jakob病の一例

○三浦 恭太郎<sup>1</sup>、中村 善胤<sup>1</sup>、小川 将司<sup>1</sup>、細川 隆史<sup>1</sup>、佐藤 克也<sup>2</sup>、北本 哲之<sup>3</sup>、  
荒若 繁樹<sup>1</sup>

<sup>1</sup>大阪医科薬科大学附属病院 神経内科

<sup>2</sup>長崎大学・院・保健科学

<sup>3</sup>東北大学大学院医学系研究科

B-19 臨床的に進行性核上性麻痺（PSP）と診断されたが、病理学的には大脳皮質基底核変性症（CBD）であった一例

○米谷 廉<sup>1</sup>、齋藤 慶介<sup>1</sup>、井上 貴美子<sup>2</sup>、須藤 素弘<sup>2</sup>、藤村 晴俊<sup>2</sup>、村山 繁雄<sup>3</sup>、  
大江田 知子<sup>1</sup>、澤田 秀幸<sup>1</sup>

<sup>1</sup>国立病院機構 宇多野病院 脳神経内科

<sup>2</sup>大阪刀根山医療センター 脳神経内科

<sup>3</sup>大阪大学大学院 連合小児発達学研究所

B-20 造血幹細胞移植を断念した成人発症副腎白質ジストロフィーの一例

○峠 理絵<sup>1</sup>、松川 敬志<sup>2</sup>、下澤 伸行<sup>3</sup>、石井 公美<sup>1</sup>、藤井 ちひろ<sup>1</sup>、近藤 誉之<sup>1</sup>

<sup>1</sup>関西医科大学総合医療センター 脳神経内科

<sup>2</sup>東京大学医学部附属病院 脳神経内科

<sup>3</sup>岐阜大学高等研究院

B-21 首下がりに限定する筋無力症候群を呈した球脊髄性筋萎縮症の一例

○隅蔵 大幸、畑山 直輝、藤岡 智宏、永島 希、島田 勇毅、深阪 勲、清水 幹人、  
東田 京子、星 拓、坂口 学

大阪急性期・総合医療センター 脳神経内科

B-22 L-Dopa治療後に水疱性類天疱瘡を発症したパーキンソン病の1例

○金星 匡人、北 峻志、坂下 健人、足立 洋、西田 勝也、西本 啓介、河本 邦彦、  
山崎 浩、三谷 真紀、二村 直伸

国立病院機構兵庫中央病院 脳神経内科

## 第3会場

### 脳血管障害1

座長：大槻 俊輔  
(近畿大学病院 脳卒中センター)

9:00~9:32

#### C-01 急性期血行再建術中にCYP2C19 variant迅速診断による抗血小板療法選択が有用であったアテローム血栓性脳梗塞の1例

○乾 涼磨<sup>1</sup>、石山 浩之<sup>1</sup>、阿部 宗一郎<sup>1</sup>、吉本 武史<sup>1</sup>、福森 惇司<sup>2</sup>、櫛 裕史<sup>2</sup>、  
今村 博敏<sup>2</sup>、片岡 大治<sup>2</sup>、猪原 匡史<sup>1</sup>

<sup>1</sup>国立循環器病研究センター 脳神経内科

<sup>2</sup>国立循環器病研究センター 脳神経外科

#### C-02 同側錐体路障害による片麻痺の機序をFunctional MRIで証明しえた脳梗塞の一例

○村田 翔平<sup>1</sup>、北大路 隆正<sup>1</sup>、笠井 高士<sup>1</sup>、田中 瑛次郎<sup>1</sup>、小島 雄太<sup>1</sup>、福永 大幹<sup>1</sup>、  
井上 知彦<sup>1</sup>、阿部 能成<sup>2</sup>、尾原 知行<sup>1</sup>

<sup>1</sup>京都府立医科大学大学院 医学研究科 脳神経内科学

<sup>2</sup>京都府立医科大学大学院 医学研究科 精神機能病態学

<sup>3</sup>杉本医院からすまメンタルクリニック

#### C-03 若年の潰瘍性大腸炎患者に認めた奇異性脳塞栓症の一例

○村田 博朗、鴨川 徳彦、塩澤 真之、古賀 政利

国立循環器病研究センター 脳血管内科

#### C-04 一側の頸動脈痛で発症し罹患頸動脈の高度狭窄と無症候性脳梗塞を合併したTIPICSと考えられる若年女性例

○梅村 ゆりあ<sup>1</sup>、柴田 益成<sup>1</sup>、柿原 知人<sup>1</sup>、中村 敬<sup>1</sup>、前田 周吾<sup>1</sup>、山田 恵壽<sup>2</sup>

<sup>1</sup>住友病院 脳神経内科 脳卒中・脳血管内治療室

<sup>2</sup>住友病院 膠原病・リウマチ内科

## 脳血管障害2

座長：坂口 学  
(大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター 脳神経内科)

9:37~10:25

### C-05 developmental venous anomalyの閉塞による難治性痙攣重積の1例

○山村 悠介<sup>1,2</sup>、上田 健博<sup>1</sup>、鈴木 郁<sup>1</sup>、米田 行宏<sup>1</sup>、影山 恭史<sup>1</sup>

<sup>1</sup>兵庫県立尼崎総合医療センター 脳神経内科

<sup>2</sup>関西電力病院 脳神経内科

### C-06 Posterior reversible encephalopathy syndrome (PRES) によりsulcus SAHとspinal SAHを生じたと考えられた1例

○桂 遥香、畑 俊嘉、金子 隼也、西村 凌征、佐々木 周、塚本 剛士、小橋 修平、  
玉木 良高、小川 暢弘、北村 彰浩、山川 勇、寺島 智也、漆谷 真

滋賀医科大学 脳神経内科

### C-07 Hyperintense vessel signの経時的变化を観察し得た可逆性脳血管攣縮症候群(RCVS) の一例

○村方 健治、團野 大介、太田 久仁子、杉山 華子、宮原 淳一、柏谷 嘉宏、  
菊井 祥二、竹島 多賀夫

富永病院 脳神経内科

### C-08 脳皮質下出血で発症し、脳血管造影検査のみで判定可能な末梢動脈病変を呈した可逆性脳血管攣縮症候群の一例

○碓井 遼、田中 寛大、高下 純平、額田 遼太郎、古賀 政利

国立循環器病研究センター 脳血管内科

### C-09 一過性神経発作を呈した脳アミロイド血管症で頭皮脳波の超低域徐波をみとめた2例

○寺村 光一郎<sup>1</sup>、眞木 崇州<sup>1</sup>、三宅 智彬<sup>1</sup>、宇佐美 清英<sup>1</sup>、小林 勝哉<sup>1</sup>、池田 昭夫<sup>2</sup>、  
高橋 良輔<sup>1</sup>

<sup>1</sup>京都大学大学院 医学研究科 臨床神経学

<sup>2</sup>京都大学大学院 医学研究科 てんかん・運動異常生理学講座

### C-10 責任病変の高位診断に難渋したBow hunter症候群の一例

○大内 譲<sup>1</sup>、沼 宗一郎<sup>1</sup>、今井 啓輔<sup>1</sup>、山田 丈弘<sup>1</sup>、崔 聡<sup>1</sup>、長 正訓<sup>1</sup>、加藤 拓真<sup>1</sup>、  
森 弦<sup>2</sup>、大澤 透<sup>2</sup>

<sup>1</sup>京都第一赤十字病院 脳神経・脳卒中科

<sup>2</sup>京都第一赤十字病院 整形外科